

機関番号：24402

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2008 ～ 2010

課題番号：20330164

研究課題名（和文） 中等教育・職業教育における新カリキュラム開発の動向に
関する国際比較研究研究課題名（英文） International Comparison on the New Trends of the Curriculum
Development of Secondary and Vocational Education

研究代表者：

堀内 達夫 (HORIUCHI TATSUO)

大阪市立大学・大学院文学研究科・教授

研究者番号：40135273

研究成果の概要（和文）：現代の日本、フランス、ドイツ、アメリカ、イギリス、北欧および中国における中等教育・職業教育において開発されるカリキュラムについて、国際比較の観点から、教育政策および学校実践の実態調査に基づいてその動向を明らかにした。中等・職業教育カリキュラムの類型論に基づくと、ドイツは普職独立型に、アメリカを普職総合型に分けられる。さらに、フランスと日本では統合と分離の両方向の政策が認められる。学校実践は、複数の国でその政策に強く影響されている。

研究成果の概要（英文）：This research report clarified the trends of a curriculum developed in contemporary secondary and vocational education of Japan, France, Germany, U.S.A., England, northern Europe and China, through the analysis of educational policy and schools practices from the viewpoint of international comparison.

Basing on the typology of a curriculum development of the secondary and vocational education, It is possible to classify Germany in the stand-alone type, U.S.A. in the comprehensive type. A double political tendency of separation and integration is made sure in France and Japan. The schools practices is strongly influenced, in plural countries, by the educational policy.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	2,800,000	840,000	3,640,000
2009年度	2,600,000	780,000	3,380,000
2010年度	2,500,000	750,000	3,250,000
年度			
年度			
総計	7,900,000	2370,000	10,270,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学

キーワード：中等教育、職業教育、カリキュラム

1. 研究開始当初の背景

欧米諸国に発展する中等教育は、大別して独立型と総合型のカリキュラムからなり、普通教育と職業教育、それらを総合した教育がその主要なカリキュラムを構成している。本研究は、中等段階の教育システムとそこで新

に開発されるカリキュラムに関する動向について、経済先進諸国及び高度経済成長を遂げる中国の事例を取り上げて、それらの国際比較を通じて、各国が直面する課題の独自性および各国間の共通性を明らかにする。

2. 研究の目的

カリキュラム開発に関する国際比較を通じて、主として経済先進国の中等教育と職業教育の政策動向および学校実践の実情を明らかにする。併せて、職業教育を含む中等教育と高等教育あるいは生涯学習との接続の観点から、普職独立型カリキュラムないし普職総合型カリキュラムの開発が抱える課題を明らかにする。

3. 研究の方法

中等教育・職業教育カリキュラム開発に関する国際類型論を用いて、対象国を経済先進国である日本、フランス、ドイツ、アメリカ、イギリス、スウェーデンを含む北欧、そして経済成長が目覚ましい中国を選び、各国政府が進める教育政策、若者雇用政策の動向を分析し、併せて各国の中等教育・職業教育機関におけるカリキュラム実践を現地調査した。これらの調査を総合して、新たなカリキュラム開発の行方を探る。

4. 研究成果

中等教育・職業教育カリキュラム開発に関する国際比較の観点から、対象国における現地調査を通じて、以下の点が確認できた。ドイツとアメリカを典型とする独立型と総合型を両極として、フランスと日本は分離と統合の2面的な教育政策が見られ、またスウェーデンや中国を含めて学校実践は教育政策から強い影響力を受けている。日本における高校教育課程の特色化と多様化はその典型であるが、それにふさわしい条件整備が遅れていることが問題である。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計15件)

- 1.堀内達夫・大津尚志「フランスにおける職業リセ及びリセにおける教育課程の動向—学校基本計画法(2005年)以降の実情—」人文研究 (大阪市立大学大学院文学研究科紀要) 査読有、62巻、2011年、109-122
- 2.佐藤史人「高校普通科における職業教育・キャリア教育に関する現状と課題」和歌山大学教育学部紀要 (教育科学) 61集、査読無、2011年、85-88.
- 3.佐々木英一「若年者雇用対策 (青年期の雇用能力開発) に関する国際比較研究—先進各

国の経験とわが国の若年者雇用能力開発への示唆—」社会保険労務士総合研究機構報告書、査読無、2010年、1-23

4.西美江「米国ハイスクールの職業教育の動向—ケンタッキー州の学区レベルの実践から—」『教育学論集』36号 (大阪市立大学大学院文学研究科人間行動学専攻教育学専修) 査読無、2010年、59-63.

5.佐野正彦「現代英国の職業教育ルートをたどる若者の雇用への移行—継続教育カレッジの役割と機能に関する計量的分析—」産業教育学研究 40巻2号、査読有、2010年、8-15.

6.佐々木英一「ドイツにおける職業教育・訓練の構造転換」追手門学院大学心理学部紀要 4巻、査読無、2010年、73-106.

7.上野和久・佐藤史人「専門高校における学科・カリキュラム改編に関する研究—商業高校のコース制導入とキャリア形成との関連を中心に—」和歌山大学教育学部紀要 (教育科学) 60集、査読無、2010年、61-72.

8.堀内達夫・伊藤一雄「フランスにおける職業高校の改革と現状」技術教育研究 68号、査読無、2009年、32-37.

9.佐々木英一「ドイツ教育学における一般陶冶と職業陶冶の関係」(元木健・田中萬年編著『非「教育」の論理』明石書店、査読無、2009年、217-238.

10.西美江「アメリカのハイスクールにおける実社会と結びついた職業教育」教育と医学の会編『教育と医学』57巻9号、査読無、慶應義塾大学出版会、2009年、874-881.

11.堀内達夫「変化する中等教育カリキュラム」フランス教育学会紀要 20号、査読無、2008年、5-14.

12.佐々木英一「ドイツにおける学校から仕事への移行の現状と課題—2008年度教育白書に見る移行問題—」追手門学院大学教職課程年報 17号、査読無、2009年、15-26.

13.佐々木英一 "Technikunterricht im japanischen Bildungssystem". (in: Theuerkauf, W.E. /Menschenmoser, H./Meier, B./Zoellner, H. (Hrsg.) Qualitaet Technischer Bildung) Machmid Verlag, 2009年、264-278

14.佐藤史人「産業教育振興法改正による国庫補助の廃止」技術教育研究 67号、査読無、2008年、20-23.

15.堀内達夫 'Historical study on the Western School Model of TVET in Japan' "Handbook of Technical and Vocational Education and Training Research" 2008 年、275-278.

〔学会発表〕(計9件)

- 1.佐藤史人「高校普通科における職業教育・キャリア教育」日本産業教育学会第51回シンポジウム、2010.10.17. 東海学園大学
- 2.横山悦生「スウェーデンにおける最近の高校職業教育・訓練改革について」(Anders Nilssonとの共同研究報告)日本産業教育学会第51回大会 2010.10.17. 東海学園大学
- 3.堀内達夫・大津尚「フィヨン法以降の職業リセ及びリセにおける教育課程の動向ー2008年9月現地調査報告ー」フランス教育学会第27回大会、2009.9.13. 大阪大学
- 4.西美江「米国ハイスクールにおける学校からキャリアへの移行プログラムーカリフォルニア・パートナーシップ・アカデミーの評価を中心に」日本産業教育学会第50回大会 2009.10.18. 職業能力開発総合大学校
- 5.佐野正彦「イギリスにおける職業教育ルートをとる若者の実態ー大都市ロンドンの継続教育カレッジに学ぶ若者に関する第1回調査よりー」日本産業教育学会第50回大会 2009.10.18. 職業能力開発総合大学校
- 6.堀内達夫「フランスにおける高校改革と技術・職業教育」日本商業教育学会兵庫支部総会研究会(招待講演)2009.7.20. 兵庫大学
- 7.西美江「米国ハイスクールにおける社会的に不利な立場に置かれた生徒を対象とした学校から職業への移行プログラムーキャリア・アカデミーに関するMDRC調査よりー」日本産業教育学会第49回大会 2008.10.19. 鹿児島大学
- 8.佐々木英一"Der Technikunterricht in japanischen Bildungssystem、Deutsche Gesellschaft fuer Technische Bildung" 2008.9.12. Muenster(ドイツ連邦共和国

9.横山悦生"Skapandet av det allmänna skolsystemet i Sverige - 1842 års folkskolestadga och dess betydelse, Svenska Historikermötet" 24 april 2008 i Lund, (Lund)

〔図書〕(計5件)

- 1.伊藤一雄・佐藤史人・堀内達夫編著『キャリア開発と職業指導 大学・高校のキャリア教育支援』法律文化社、2011年、171
- 2.大津尚志・伊藤一雄・伊藤良高・中谷彪編『教育課程のフロンティア』晃洋書房、2010年、117.
- 3.斎藤武雄・佐々木英一・田中喜美・依田有弘 編著『ノンキャリア教育としての職業指導』学文社、2009年、277.
- 4.佐々木英一・南新秀一・吉岡真佐樹編『新教育学ー現代教育の理論的基礎ー』[第2版]ミネルヴァ書房、2009年、280.
- 5.フランス教育学会編(堀内達夫他)『フランス教育の伝統と革新』大学教育出版、2009年、289.

〔その他〕

ホームページ等

『中等教育・職業教育における新カリキュラム開発の動向に関する国際比較研究』科学研究費補助金研究成果報告書(平成20~22年度)研究代表者 堀内達夫、2011年3月、207.

6. 研究組織

(1) 研究代表者

堀内 達夫 (HORIUCHI TATSUO)
大阪市立大学・大学院文学研究科・教授
研究者番号：40135273

(2) 研究分担者

佐々木 英一 (SASAKI EIICHI)
追手門学院大学・心理学部・教授
研究者番号：30125471

伊藤 一雄 (ITO KAZUO)
高野山大学・文学部・教授
研究者番号：00319930

横尾 恒隆 (YOKOO TUNETAKA)
横浜国立大学・教育人間科学部・教授
研究者番号：30220544

佐藤 史人 (SATO HUMITO)
和歌山大学・教育学部・教授
研修者番号：80324375

西 美江 (NISHI MIE)
関西女子短期大学部・保育科・准教授
研究者番号：20515895

(3) 連携研究者

吉岡 真佐樹 (YOSHIOKA MASAKI)
京都府立大学・公共政策学部・教授
研究者番号：80174895

佐野 正彦 (SANO MASAHIKO)
相愛大学・共通教育センター・教授
研究者番号：00202101

横山 悦生 (YOKOYAMA ETSUO)
名古屋大学・大学院教育発達科学研究科・
教授
研究者番号：40210629

(4) 研究協力者

大津 尚志 (OTSU TAKASHI)
武庫川女子大学短期大学部・幼児教育科・
講師
研究者番号：40398722